

花粉症にご注意を

2024年の飛散予測と対策

スギやヒノキなど植物の花粉が原因物質(アレルゲン)となり、くしゃみ・鼻水・鼻づまりといったつらいアレルギー症状を引き起こす花粉症。季節性アレルギー性鼻炎とも呼ばれ、患者さんの数は年々増え続けています。



アレルギー症状が常に出続けることは、患者さんにとって大きなストレスとなり、集中力の低下など日常生活にも支障をきたしてしまいます。症状の出方や重症度は個人によって異なりますが、早めに医師に相談をして診断を受けることが大切です。



花粉症治療のおはなし 第1回

花粉症の初期療法

「初期療法」とは、例年強い花粉症の症状が出る患者さんに向けて、本格的に花粉が飛び始める前、または症状が少しでも現れたときから薬物治療を始める治療法をいいます。

初期療法では、くしゃみ・鼻水・鼻づまりなどの症状の種類や、予測される花粉の飛散量などを参考に医師がお薬を選択します。また、花粉飛散シー



ズンに入ってから、飛散量の増加や患者さんの症状の変化・強さに応じて、治療内容を変更することもあります。花粉症は早めの治療が大切です。ご自身の症状や地域の花粉飛散情報などをこまめに確認し、初期療法を行う際には花粉の飛散開始前に早めに医師に相談をしましょう。

参考：日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会（現・日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会）
鼻アレルギー診療ガイドライン作成委員会 編：鼻アレルギー診療ガイドライン2020年版
（改訂第9版）、ライフ・サイエンス、2020。

●医療機関・薬局名

